

# ■ 『ゆたかなこころ』（1年生）と『こころのノート』との関連 ■

光文書院

学年	資料名	関連・連携のための指導計画例	発展
1年	2 きちんとね 〈1－(1) 節度ある生活態度〉	『こころのノート』……「まい日を 気もちよく」の“たしかめてみよう”に、継続的に記入するようにする。	
	3 あいさつで しあわせに 〈2－(1) 礼儀〉	学級活動……あいさつを続けようと思ったとき、『こころのノート』（げん気に あいさつ）でどんなあいさつがあるかを確認する。 課外や家庭……あいさつを習慣化するために、保護者にも呼びかけ『こころのノート』に記入する。	☆『こころのノート』（あいさつはこころの リボン）を見て、「しあわせあいさつごっこをしてみよう」と投げかけ、お互いに声を掛け合う楽しさを実感させる。 ☆『こころのノート』（じょうずに あいさつ できたかな）を継続的に記入するように呼びかける。
	4 きと あそぼう 〈3－(1) 自然愛，動植物愛護〉	日常生活……生き物を育てたり，自然の中で遊んだことをカードに書いたり，『こころのノート』（そとで あそぼう）に貼ったりする。	☆木や花と話したことをカードに書いて，『こころのノート』（そとで あそぼう）に貼らせる。
	5 かぼちゃの つる 〈1－(1) 節度ある生活態度〉	帰りの会……わがままをしないで気持ちよく過ごせたかを『こころのノート』（気もちの いい 一日）を見て点検する。	☆帰りの会のとき，『こころのノート』（気もちの いい 一日）を見て，わがままをしないで気持ちよく過ごせたかを点検させる。
	6 がっこうまでの みち 〈2－(4) 尊敬・感謝〉		〔展開例・指導の方法〕 『こころのノート』（ありがとうをさがそう）を見て，お世話になっている人について考える。
	7 ぼくに もたせて 〈4－(2) 家族愛〉	『こころのノート』……「かぞくって いいね」の「かぞくに やくに 立った ことを かこう。」に該当事項を記入するよう，家庭学習を設定する。	
	8 およげ こいのぼり 〈4－(4) 郷土愛〉	『こころのノート』……自分たちの町を調べて紹介する新聞を作る。	☆「自分の町のよいところを紹介する新聞を作ろう」とよびかけ，『こころのノート』（わたしを そだてる まち）に書くように指示する。
	9 いのちの アルバム 〈3－(2) 生命尊重〉		☆『こころのノート』（みんな みんな 生きて いるよ）から，いろいろな生まれたばかりの命にふれる。また，家の人に話を聞くという活動にもつなげる。
	10 タッチして いいの 〈2－(2) 思いやり・親切〉	『こころのノート』……「あたたかい ころろで」に記録させる。	☆ 温かい心の郵便やさんになって，喜んでくれた人がいたら『こころのノート』（あたたかい ころろで）に記録するように指示する。
	11 ぼくは いかない 〈1－(3) 勇気〉	『こころのノート』……「あなたの ゆう気を きろくして おこう」に記入する。	
	12 きいろい ベンチ 〈4－(1) 公德心，規則尊重〉	『こころのノート』……「みんなの ものを 大せつに」に，みんなで使う物のよいと思う使い方を書く。	☆『こころのノート』（みんなの ものを 大せつに）に，みんなで使う物のよいと思う使い方を考えて書いておくように指示する。
1年	14 ぼく はずかしいや 〈1－(4) 正直・明朗〉	『こころのノート』……課外や家庭で「うそなんか つくもんか」を読み，正直・明朗の視点で自分を振り返る。	

	15 まほうの て 〈2－(4) 尊敬・感謝〉	日常生活・学級活動……お世話になっている人に「ありがとうカード」を書く(『こころのノート』(ありがとうカードを あげよう)に記入する)。	☆『こころのノート』(ありがとうをさがそう)を見て「ありがとう」を見つけ、「ありがとうカード」に記入するよう投げかける。
	16 たのしい おまつり 〈4－(4) 郷土愛〉	『こころのノート』……「わたしを そだてるまち」を読んで話し合い、町のすてきなところを紹介する新聞を作る。	
	17 みんな みんな いきている 〈3－(2) 生命尊重〉	日常生活……元気だなと感じたとき、何かをがんばったときに、『こころのノート』(いのちきらきらの「げんきカード」に記入する。	☆『こころのノート』(いのちきらきらの「げんきカード」の記入を継続的に呼びかけ、これからも、「げんきパワー」をふやすことを期待したい。 ☆『こころのノート』(みんな みんな 生きて いるよ)の写真を見て、生まれたばかりのかわいい命を素直に感じ、自分の生まれたときの話を家の人に聞くことで、生まれてきた喜びを感じさせたい。
	18 あきの おくりもの 〈3－(3) 敬けん〉	『こころのノート』……美しいものを見つけて、「うつくしいものを かんじて」に記録する。	☆「美しいものを見つけたら、絵や写真に残しておこう。」と呼びかける。『こころのノート』(うつくしいものを かんじて)。
	19 おとしよりと いっしょに 〈2－(2) 思いやり・親切〉	『こころのノート』……課外や家庭で「あたたかい ころを とどけよう」を読み、思いやり・親切の視点で自分の身のまわりを見直す。	☆『こころのノート』(あたたかい ころを とどけよう)を読んだあと、生活科や学校行事の中で交流しているお年寄りに、今後どうしたら喜んでもらえるかを考え、計画を立てさせる。
	20 ゆうきの とびら 〈1－(3) 勇気〉	日常生活……「ゆうきパワー」を帰りの会等で報告する。『こころのノート』(ゆう気を 出して)に記入する。	☆継続的に『こころのノート』(あなたの ゆう気を きろくして おこう)に記入するよう呼びかける。
	21 だいじな わすれもの 〈2－(1) 礼儀〉	『こころのノート』……「じょうずに あいさつ できたかな」を継続的に記録する。	☆『こころのノート』(じょうずに あいさつ できたかな)に継続的に記録させる。
	22 タイロ がんばれ 〈1－(2) 勤勉・努力〉	特別活動の時間など……しっかりできたときの気持ちなどを『こころのノート』(しっかり やろう)に書き込み、「わたしのがんばり発表会」を開く。	☆『こころのノート』(しっかり やろう)の記録をもとに、「わたしのがんばり発表会」を開き、がんばった成果が表れてきていることを確認し合い、がんばることの意欲につなげさせる。
	28 はしの うえの おおかみ 〈2－(2) 思いやり・親切〉	朝の会など……そのような心(「人が喜ばば自分もうれしくなる」)は自分ももっていることについて、校長先生や保健の先生から話を聞いて実践し、『こころのノート』(あたたかい ころで)に記入していく。	
1年	29 わたしたちの がっきゅう 〈4－(3) 愛校心〉	『こころのノート』……楽しい学級にするためのアイデアを、『こころのノート』(みんなのできる ことを さがそう。)に書く。	

	<p>33 ぎんの しずく 〈4－(2) 家族愛〉</p>	<p>学級活動……母の日，父の日，敬老の日などに，感謝の手紙を書く。『<b>こころのノート</b>』（かぞくって いいね）に記入する。</p>	<p>☆『<b>こころのノート</b>』（かぞくの ねがいを かいて もらおう）に，家の人にインタビューをして書いてもらうことで，家族の一員として生まれてきた喜びを実感させたい。 ☆ありがとうの気持ちを伝えたり，何かしてあげたりしたことを『<b>こころのノート</b>』（かぞくの やくに 立った ことを かこう）に記録するよう呼びかける。</p>
	<p>34 きんの おの 〈1－(4) 正直・明朗〉</p>		<p>〔展開例・主な学習活動〕 『<b>こころのノート</b>』（うそなんか つくもんか）を読み，自分の思いを深める。</p>